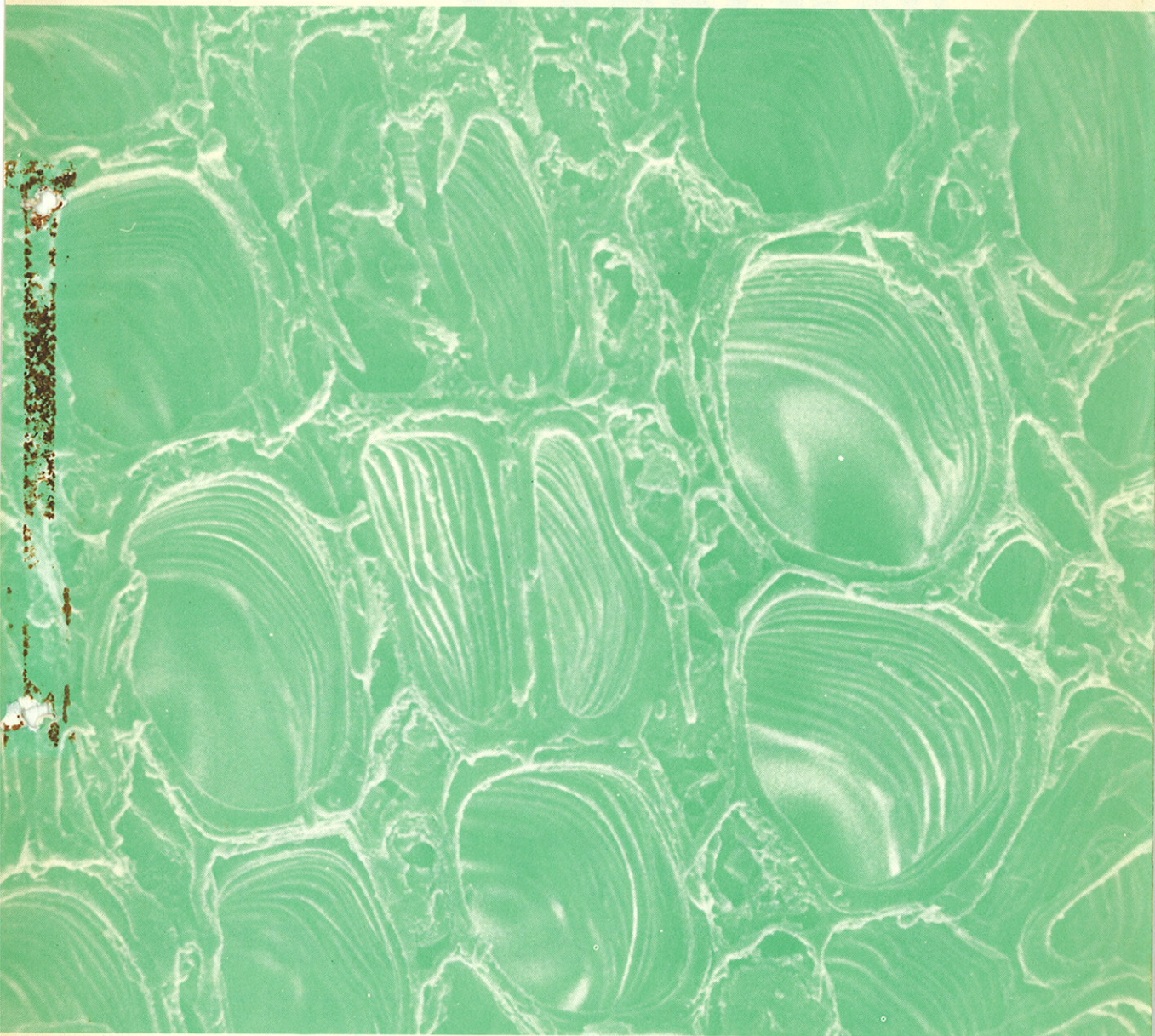


植調

第11卷第1号



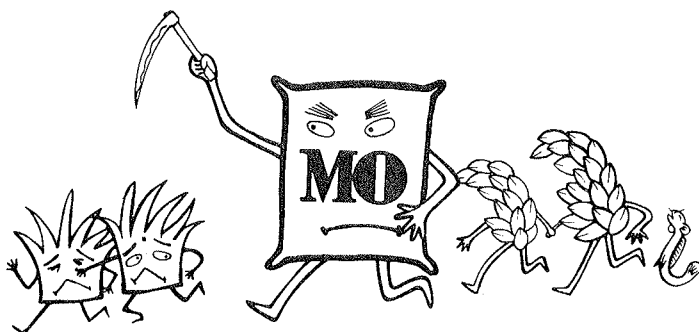
財団法人 日本植物調節剤研究協会編

安全でよく効く!

——水田除草剤——

MO粒剤-9

(CNP除草剤)



MO普及会

取扱会社 クミアイ化学、三共、北興化学、八洲化学、日本農薬、サンケイ化学、三井東圧農薬
事務局 東京都千代田区霞が関3-2-5 (霞が関ビル) 三井東圧化学株式会社内



稚苗移植栽培が急速に増加するにつれ、抑草期間が長く、しかも安全な除草剤への要求は、ますます強くなっています。エックスゴーニ粒剤は、これらの要求にピッタリの除草剤です。

田植前後に

エックスゴーニ粒剤

頼れる水田除草剤

代かき後7日以内
にお使いください。

資料請求券
植 調
エックスゴーニ

エックスゴーニ協議会



石原産薬株式会社
〒550 大阪市西区江戸堀上通1-11-11



日本農薬株式会社
〒103 東京都中央区日本橋1-2-5

効果検定の裏方を

雑草の種類や発生は地域によって異なるのみならず、前作の有無や作付体系、耕起の時期、除草法によって変わる。マツバイは寒冷地や暖地の早期栽培で多くなり、ミズガヤツリは早期栽培・乾田直播でふえ、ウリカワは暖地水田で、オモダカ・ヒルムシロ・ホタルイは寒地水田で増加の傾向にある。これらは何れも多年生雑草で、除草剤により1年生雑草が駆除されるための変化と思える。したがって、現在の除草剤は単品でなく2種以上の混合剤、もしくは薬剤の施用時期を変えての体系処理が有効となる。雑草の生態はこのように複雑であるから、雑草防除研究の困難さは作物研究の比ではない。除草剤の開発研究の苦労もあるが、開発された薬剤の効果を検定する農業・園芸試験場など、試験研究者の立場はさらに難渋である。雑草の各草種が一樣に均一に発生してくれば文句はないが、自然に放任してそれを望むべくもない。

雑草の種子を採り、休眠を打破して播種したり、前年1部の雑草を残して落下種子の発生に期待したり、それも発生を容易にするため、排水に留意するなど、裏方の努力が甚大である。除草剤の薬剤そのものの開発は、真にめざましい。その対応に追われている間に検定法の確立が遅れたというのが実状ではないかと心配である。各地の慣行農法の下で発生する優占雑草のいくつかを組合せた雑草群落を人工的に、確実にかつ再現的に育てる技術を確立し、これを対象として効果を検定する圃場を整備することが急務のように思えて、何かと気がかりである。効果検定の裏方の努力を要望したい。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会会長 戸刈義次〕

目次

(第11巻第1号)

昭和51年度畑作マルチ資材の試験成績について……………	2
＜農事試験場畑作部 中山兼徳＞	
1. 子房柄誘引孔を設けたフィルムの落花生作に対する適用……………	2
2. 落花生用サッソーシートの除草効果……………	3
3. 光崩壊性フィルムの落花生作に対する適用……………	3
4. 黒色・乳白色フィルム（メデル）のこんにゃく作に対する適用……………	4
5. 紫外線カットフィルムの適用……………	4
6. 着色フィルムの畑稲深溝栽培への適用……………	5
7. 融雪後の土壌水分確保のためのマルチ資材の適用……………	5
昭和51年度桑園関係除草剤・生育調節剤試験成績概要……………	5
昭和51年度リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験成績概要……………	9
昭和51年度落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績概要……………	13
昭和51年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績概要……………	16
＜財団法人 日本植物調節剤研究協会＞	
外国文献抄録……………	21
植調協会だより……………	22

表紙に用いた写真は、梨の葉の断面（維管束）を走査電子顕微鏡で観察したものである。
（写真提供は、農事試験場 高橋広治氏）

昭和51年度畑作マルチ資材の 試験成績について

農林省農事試験場畑作部作業体系第1研究室長 中山兼徳

昭和51年度畑作マルチ資材試験成績検討会は、昭和52年2月1日、約45名の参加のもとに、農業健保会館（東京）において開催された。

当検討会では、受託フィルムの試験を中心に、マルチ資材、それらを用いた栽培法まで、マルチに関して広範な検討が行われた。その試験成績および検討結果の概要は次のとおりである。

1. 子房柄誘引孔を設けたフィルムの落花生作に対する適用

(1) 北海道におけるマルチ栽培の適否

芽室（年平均気温約5.7℃）、長沼（同7.5℃）、大野（同8.0℃）の3場所で試験が行われた。昭和51年の気温は平年に比べ5～6月は平年並かやや高かったが、7月以後とくに8月からは低温で、厳しい冷温条件のもとでの試験である。供試品種はタチマサリ、供試フィルムの主体はPH 840-15である。10a当りの収量と百粒重は、次のとおりである。

場 所	子実重（播種期）	百 粒 重
芽 室	80 kg（5月下旬）	50 ^g
	20（6月上旬）	40
長 沼	50（5月下旬）	50～60
	230（5月下旬）	75～80
	130（5月中旬）	〃
大 野	130～180（5月上旬）	85～90

灰色かび病と思われる病害の発生がみられ、大野では発芽不良も認められた。

以上および前年度までの結果から、道南では落花生マルチ栽培の可能性があるかと堆定されるが、札幌以北では再検討が必要である。

なお、供試フィルムは従来のフィルムに比べて地温上昇効果がやや劣り、雑草の発生の多いことが指摘された。また、種子としては、道産ものは千葉産に比べ、その後の生育、収量で劣った。

(2) 子房柄誘引孔を設けたフィルムの効果の確認

供試フィルムは従来のフィルムに子房柄誘引用の切れ目を設けたものであり、そのねらいは子房柄の進入を助長し、莢実の肥大促進、収量の向上をはかることにある。供試フィルムの規格は次のとおりである。

PH840-15 フィルム幅85cm，株間15cm，
条間40cm，誘引の切れ目幅10cm。

PH945-27 フィルム幅95cm，株間27cm，
条間45cm，誘引の切れ目幅15cm。

地温上昇効果は従来のフィルムに比べ、最高地温でやや低く、最低地温では差は少ないとする成績が多かった。したがって、マルチ効果のポイントを昇温におく寒冷地では若干難点が示されたが、関東以南の暖地では昇温効果の不足がむしろ過度の高温回避となってプラスに働いた場所もあった。雨が入りやすいため、結実圏の土壤水分はやや増加した。

土中進入子房柄に対する誘引孔から入った子房柄の割合は、立性種では20%以下でとくに供

試フィルムの子房柄進入促進の効果は認められなかった。しかし、半立種では30%に達した場所もあった。

以上の成績から、供試フィルムは従来のフィルムに比べて、寒冷地ではとくに効果の向上を期待できるとはいえない。しかし、高温、干ばつの多い温暖地、暖地では適用の可能性があり、半立種では効果の向上を期待してよい。

なお、供試フィルムは切れ目があるため、雑草の発生が多く、フィルム張り作業も注意して行う必要のあることが指適された。また、切れ目を小さくすること、例えば微細孔（1cm²当り3～6コ）の設定などが要望された。

2. 落花生用サッソーシートの除草効果

落花生用のサッソーシートとしてプロメトリン混入のフィルムが実用化されているが、この効果確認とバーナレート粒剤の併用についての試験が青森畑作園試で行われた。

対照フィルム区に比べ、プロメトリン8g混入（P8）の残存雑草は38%で、殺草効果はやや劣ったが、P10、P12では残存雑草は0に近く、きわめて高い効果を示した。プロメトリン混入フィルムとバーナレート粒剤の併用による相乗効果は小さかった。葉害はいずれの処理においても認められなかった。

3. 光崩壊性フィルムの落花生作に対する適用

(1) サンブラックフィルム

ポリエチレンにCaを混入したもので、次のような色および崩壊度が異なるフィルムが試験に用いられた。

ES（乳白、崩壊度早）
EM（〃、〃中）
EL（〃、〃遅）
BM（黒、〃中）

ELはいずれの場所でも崩壊しなかった。EM、ESの崩壊始めは青森では49日を要したが、そのほか東北、関東、九州を通して43日以内で、とくにESは九州では20日目に崩壊を始めた。BMについては、宮崎では45日前後に亀裂を生じたものの大きく裂開することもなく、収穫時までフィルムは残ったが、他の場所ではEMと同等もしくはやや早目に崩壊を始めた。

マルチ期間は播種後60日程度が望ましいといわれている落花生作では、S、Mとも崩壊が早すぎ、とくに本年の低温と相まって、対照マルチより生育が劣り、収量もやや低かった。崩壊が早いと雑草の発生も多く、除草剤利用を必要とした場所もあった。また、崩壊した破片の風による飛散もみられた。

しかし、収穫作業が容易になる、落葉が少ない、茎葉が堆肥材料になる、焼却が容易であるなど、作業および環境保全面からの利点が認められた。マルチャーの利用も可能である。

以上のことから、供試フィルムは実用化へ向かって検討する価値がある。とくに関東のように実の肥大初期が干ばつ期に当る地域では、収量面でもメリットが推察できる（千葉県では現在、播種後50～60日にフィルム排除が奨励されている）。供試フィルムの中ではEMが最も適用性が高いが、崩壊を若干遅くすることが望まれる。なお、崩壊したフィルム破片がロータリにより土中へすき込まれた場合の後作、あるいは土壌環境に対する影響について議論が行われたが、問題点として今後に残された。

(2) ピボラックフィルム

ポリイソブチレンオキサイドを混入したもので、次のような崩壊度が異なるフィルムが試験に用いられた。

DM-E（透明、崩壊度早）

DM-S (透明, 崩壊度早)

DM-M (〃, 〃 中)

E, Sは30日前後から崩壊を始め, 若干株に残るものの大部分は生育中期までに崩壊を終えた。Mも30~40日後から崩壊を始めたが, 茎葉の繁茂とともに崩壊がとまり, 株元のフィルムは最後まで残った。

以上のように, E, Sは崩壊が早すぎて地温上昇効果が十分でなく, 一方, S, Mを通して子房柄の進入阻害が7場所のうち53場所から報告された。そのため, 1場所を除いて, 収量は対照マルチ区より劣った。また, 崩壊部分から雑草の発生がみられ, 弱い降雪により穴があくことも指摘された。

作業性では1場所でフィルム張りの際, 縦ざきがみられたほか他に問題はなく, 一方, 収穫作業が容易になる, 落葉が少ない, 茎葉が堆肥材料になるなどの利点が認められた。

以上のことから, 実用化のためには材質の検討改善, (子房柄進入阻害の有無の検討と関連して)を先行する必要があること, また, 供試フィルムの中ではDM-Sを軸とすべきことが指摘された。フィルムの完全崩壊跡地に栽培した根菜類の試験では, 生育, 収量に影響は認められていない。

4. 黒色・乳白色フィルム(メデル)のこんにゃく作に対する適用

こんにゃくのマルチ栽培では従来から黒色フィルムが用いられているが, 新しく開発された1年生に合わせたメデルの黒色および乳白色フィルムの適用性について試験された。

地温上昇効果に対しては, 最高地温では両フィルムで差が少なく, 最低地温で乳白>黒の傾向が認められた。両フィルムマルチ区とも裸地

植えに比べ出芽, 開葉期は促進された。宮城では, この促進の結果, 開葉期が異常低温に遭遇し, 裸地植えよりやや低収となったが, 他の4場所ではいずれも増収し, 敷わら区と同等ないしはそれ以上の収量を示した。しかし, 乳白色フィルムでは葉身の黄化が認められ, 1年生では収量の低下した場所もあった。

以上のことから, 黒色フィルム(メデル)は実用性の高いことが認められ, 乳白色フィルム(メデル)については1年生にも使用できるような材質の改善が要望された。なお, フィルムマルチ栽培では病害がふえる傾向にあり, その対策を十分とる必要性が指摘された。

5. 紫外線カットフィルムの適用

(1) 落花生マルチフィルムとしての適用性

紫外線カットフィルムとして, GX-1(緑色), WX-17(白色), UVX-7(透明)が供試され, 収量性, 病害(灰色カビ病)防除との関連から検討された。

紫外線カットフィルムはいずれも子房柄の進入性が悪く, さらにWX-17は保温性も劣り, 減収した。また, 灰色カビ病の発病は8月上旬では普通フィルムのマルチ区に比べ少ない傾向であったが, 最終的には差がなかった。

(2) 糸状菌防除

レタス菌核病の発病に及ぼす紫外線カットフィルムマルチの効果について検討された。

菌核の発芽は $WX-17 > GX-1 > 慣行フィルム \geq UVX-7$ であり, 子のう盤の形成は, 開盤数, 開盤率および大きさからみて, 慣行フィルム $> WX-17 > GX-1 > UVX-7$ で, とくにUVX-7のマルチでは開盤が全く認められなかった。

キュウリ菌核病の子のう盤形成に及ぼす影響につ

いても検討された。紫外線カットフィルム被覆（トンネル）下では子のう盤の形成は普通ビニール被覆下に比べて明らかに減少した。また、被覆下の高温を防止するために行われるすそ上げ換気は、紫外線カットフィルムの効果を減殺しなかったが、上面換気のスリットではスリット幅が大きくなるにしたがい子のう盤の形成がふえた。

6. 着色フィルムの畑稲深溝栽培への適用
P E（透明），U - 603 B（梨地），U - 603B（B 10）（青色）の選光性ポリエチレンを供試，それらの畑稲深溝栽培における適用性が検討された。

U - 603 B（B 10）フィルム区は他の区に比べ，初期生育はやや劣る傾向を示したが，葉身の葉緑素含量は優り，葉やけも少なかった。し

かし，これらの差は除覆以後に縮少し，成熟期における区間差は不明瞭となった。

なお，トラクタ（30 P S）牽引のシーティングマルチャーの適用性についても報告され，作業精度は両外側ホッパーの苗立の不安定など若干の問題はあるが，全体としてはかなり齊一な立毛状態を得ることのできることが明らかにされた。

7. 融雪後の土壤水分確保のためのマルチ資材の適用

東北北部では春の干ばつにより発芽障害をうける。その対応策として，融雪後の土壤水分を保持する早期マルチの効果が検討され，確認された。その場合，適湿条件での被覆が必要であり，また，耕起直後に被覆することが有効であった。

昭和51年度桑園関係除草剤・ 生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和51年度桑園関係委託試験成績検討会は昭和52年1月19日，国立教育会館（東京）において，試験場所関係者および委託関係者等約70名参集のもとに開催された。

当検討会では，除草剤13薬剤合計86点，生育調節剤2薬剤合計5点について，各試験場所担当者の報告，その質疑応答ならびに慎重な検討がなされた。

その判定結果は次表のとおりである。

その他，試験実施場所数について，次のようなことが，話し合われた。

土壤類型別だけにみるなら，3カ所位でもよからうが，気象区分を考えると，さらに多くの所で試験する要があり，少なくとも，5カ所以上の場所で，2カ年にわたり，試験することが最低限必要であろう。

昭和51年度 桑園関係除草剤・生育調節剤供試薬剤一覧および判定結果

A 除 草 剤

薬 剤 名 ・種類名 ○商品名	剤型	有効成分および含有率	委託会社名	担 当 場 所	試験のねらい・処理方法、 処理時期、散布薬量	今回 判定	判定理由または内容
ANK-553 ・ペノキサリン ○_____	乳	N-(1-エチルプロ ピル)3,4-ジメチル -2,6-ジニトロベン ゼンアミン ……………30%	ANK-553 研 究 会 (日本農業)	福島県蚕試、 群馬県蚕試、 愛媛県蚕試、 (3)	1年生雑草に対し、春 期および夏期雑草発生 前、畦間土壌処理、 300, 400, 600 ml/10a.	継	試験年次、例数不足。 (蚕飼育試験)
D P X-3674 ・S-トリ アジン ○ペレパー	水和	3-シクロヘキシル- 6-ジメチルアミノ- 1-メチル-S-トリ アジン-2,4 (1H・ 3H)-ジオン ……………90%	デュボンフ ァーイース ト	福島県蚕試、 埼玉県蚕試、 岐阜県蚕試、 京都府農指、 徳島県蚕試、 鹿児島県蚕 試、(6)	雑草一般(特にメヒシ バ、ツユクサ)に対し、 春期および夏期雑草生 育初期(草丈10~15cm) 畦間雑草茎葉処理、25, 50g/10a.	継	薬量と薬害との関係、 50~100g/10a. 蚕飼育試験。
KH-196 ・_____ ○_____	粒	DBN ……………4.0% トリフルラリン ……………1.5%	兼 商	山形県蚕試、 栃木県蚕試、 長野県蚕試、 愛媛県蚕試、 鹿児島県蚕 試、(5)	桑園雑草全般に対し、 春期雑草発生前、土壌 混和4~6kg/10a、 表面散布6,8,9kg/ 10a.	実	土壌混和4~6kg/ 10a、表面散布6~8 kg/10a、春期雑草 発生前処理。
NP-48 (Na) ・カルボ ジメド ン ○_____	水溶	2-[1-(N-アリル オキシアミノ)-ブチ リデン]-5,5-ジメ チル-4-メトキシカ ルボニル-シクロヘキ サン-1,3-ジオンNa 塩 ……………75%	日 本 曹 達	農林省蚕試 (関西)、茨 城県蚕試、 山梨県蚕試、 長野県蚕試、 熊本県蚕試、 (5)	1年生イネ科雑草に対 し、夏期うね間雑草茎 葉処理(雑草草丈10~ 20および20~30cm)、 200, 300, 400g/a.	継	試験年次不足。 展着剤加用300~ 400g/10a.
NP-48 (Na) ・カルボ ジメド ン ○_____	水溶	2-[1-(N-アリル オキシアミノ)-ブチ リデン]-5,5-ジメ チル-4-メトキシカ ルボニル-シクロヘキ サン-1,3-ジオンNa 塩 ……………75%	日 本 曹 達	茨城県蚕試、 山梨県蚕試、 岐阜県蚕試、 (3)	散布桑園から収穫給与、 〔春、夏期うね間雑草茎 葉処理400g/10a〕(2 ~3期飼育)。	継	蚕に対する影響の再 検討。
(パラコート)+(トリ フルラリン) ・_____ ○グラモ キソン+ トレフ ァノサ イド	液 ・ 乳	パラコート : 1-1-ジ メチル-4, 4'-ビピリ ジウム・ジ クロリド … 26.0% トリフルラ リン: α, α, α -トリ フルオール-2,6-ジ ニトロN, N-ジプロ ピル-パラ ートルイジ ン … 44.5%	武 田 薬 品 工 業	茨城県蚕試、 愛媛県蚕試、 (2)	散布桑園から収穫給与、 〔春、夏期現地混合、う ね間雑草茎葉処理、P 300+T300ml/10a (3期飼育)〕。	実	P300ml+T200~300 ml/10a、春、夏期土 壌表面または雑草生 育初期処理、蚕掃立 20日以上前。 (展着剤加用)

薬 剤 名 ● 種類名 ○ 商品名	剤型	有効成分および含有率		委託会社名	担 当 場 所	試験のねらい, 処理方法, 処理時期, 散布薬量	今回 判定	判定理由または内容
SL-501・P ● _____ ○ _____	水溶	SL-501 未公開	P 剤 (既知化合物) 未公開	石原産業	農林省蚕試, (1)	1年生雑草に対し, う ね間雑草茎葉処理, 春期 } S : 300ml + 夏期 } P : 300~200 ml/10a.	継	試験年次, 例数不足. (蚕飼育も含め)
SL-502・P ● _____ ○ _____	水溶	SL-502 未公開	P 剤 (既知化合物) 未公開	石原産業	農林省蚕試, (1)	1年生雑草に対し, 春 ・夏期雑草生育期, う ね間雑草茎葉処理, 春期 } S : 300ml + 夏期 } P : 300~200 ml/10a.	継	試験年次, 例数不足. (蚕飼育も含め)
SSH-36 ● _____ ○ アシュ メックス	液	アシュラム: N'-メトキ シカルボニ ルスルファ ニルアマイ ド (Na塩) ...20.0%	アイオキシ ニル: 3,5-ジョ ード-4- ヒドロキシ ベンゾニト リル (Na塩) ...3.0%	塩野義製薬	山形県蚕試, 栃木県蚕試, 長野県蚕試, 兵庫県蚕試. (4)	メヒシバを主とする1 年生雑草に対し, 春期 および夏期雑草発生初 期〔草丈10~15cm (2 ~3葉期)], 土壌・茎葉 処理 1000, 1500 ml/ 10a.	実 ・ 継	実: 草丈10cm以内, 1000~1500ml/ 10a. 継: 春処理について.
SSH-36 ● _____ ○ アシュ メックス	液	同 上		塩野義製薬	埼玉県蚕試, 岐阜県蚕試. (2)	散布桑園から収穫・給 与, (春・夏期うね間処 理, 1500ml/10a) (2~3期飼育).	実 ・ 継	実: 草丈10cm以内, 蚕飼立20日以上前, 1000~1500ml/ 10a. 継: 春処理について.
SSH-43 ● _____ ○ _____	水和	未 公 開 50%		塩野義製薬	農林省蚕試 (関西), 茨城県蚕試, 山梨県蚕試, 徳島県蚕試, 熊本県蚕試. (5)	メヒシバを主とする1 年生雑草に対し, 春・ 夏期雑草発生前~初期 うね間土壌処理, 100 ~150g/a.	継	1. 薬害について再 検討. 2. 蚕体への影響. 3. 成分未公開のた め.
トリフル リン+ アシュラム ● トリフル リン+ アシュラ ム ○ トレファ ノサイド +アージ ラン	乳 + 液	トリフルラ リン: α, α, α -トリフル オール-2,6 -ジニトロ N, N-ジ プロピル -ノバラト ルイジン ... 44.5%	アシュラム: N'-メトキ シカルボニ ルスルファ ニルアマイ ド ... 37.0%	塩野義製薬	福島県蚕試, 埼玉県蚕試, 兵庫県蚕試, 鹿児島県蚕 試. (4)	1年生雑草全般に対し, 現地混合, 雑草発生前 ~初期, 土壌兼茎葉処 理, 春期 } T : 200~300 ml/10a + 夏期 } A : 500/10a.	実 ・ 継	実: 草丈5cm, T : 200~300ml/ 10a. A : 500ml/10a. 継: 薬害について再 検討.
トリフルラ リン+アシュ ラム	乳 + 液	同 上		塩野義製薬	岐阜県蚕試 (1)	散布桑園から収穫・給 与,	実 ・ 継	実: 草丈5cm, T : 200~300ml/ 10a.

薬 剤 名 ○ 種類名 ○ 商品名	剤型	有効成分および含有率	委託会社名	担 当 場 所	試験のねらい,処理方法, 処理時期,散布薬量	今回 判定	判定理由または内容
- トリフル ラリン+ - アシュ ラム ○トレフェ ノサイド +ア- ジラン					春期 } T : 200~300 ml/10a + 夏期 } A : 500ml/ 10a . (2~3期飼育)		A : 500ml/10a. 継 : 飼育試験・被害 について.
U-67 ・プロゾ ラミド ○バナンブル	粒	3,4,5-トリブロム- N, N, α-トリメチル ピラゾール-1-アセ トアミド 6.0 %	日本アップ ジョン, 武 田薬品工業	群馬県蚕試, 長野県蚕試, 京都府農指, 愛媛県蚕試, 熊本県蚕試. (5)	1年生雑草に対し, 春 ・夏期雑草発生前, 畦 間土壌処理, 4~8kg/10a.	継	6~8kg/10a. 薬害検討. 効果のあるもの.
U-67 ・プロゾ ラミド ○バナンブル	粒	同 上	日本アップ ジョン, 武 田薬品工業	茨城県蚕試, 山梨県蚕試, 愛媛県蚕試. (3)	散布桑園から収穫・給 与, [春・夏期処理, 4~8kg/10a], (2 期飼育).	継	6~8kg/10a. 薬害検討. 効果のあるもの.
OK- 621 ・パラコ ート ○	液	1,1'-ジメチル-4,4'- ービピリジウムジメチ ルサルフェート 38 %	大塚化学 薬 品	岩手県蚕試, 群馬県蚕試, 埼玉県蚕試, 愛知県農総 試験研, 三 重県農技セ ンター, 兵 庫県蚕試, 鹿児島県蚕 試. (7)	一般雑草に対し, 夏期 雑草生育期, 茎葉処理, 200~300ml/10a.	実 ・ 継	実 : 200~300ml/ 10a. 継 : 成績不一致, 試 験年次不足.
OK- 621 ・パラコ ート ○	液	1,1'-ジメチル-4,4'- ービピリジウムジメチ ルサルフェート 38 %	大塚化学 薬 品	宮城県蚕試, 福島県蚕試, 山梨県蚕試, 熊本県蚕試, 宮城県農 試. (5)	散布桑園から収穫・給 与 [夏期雑草生育期, 茎葉散布 200~300ml /10a] (2期飼育)	実 ・ 継	同 上
OK- 622 ・パラコ ート ○	液	1,1'-ジメチル-4,4'- ービピリジウムジクロ リド 24 %	大塚化学 薬 品	岩手県蚕試, 群馬県蚕試, 埼玉県蚕試, 愛知県農総 試験研, 三 重県農技セ ンター, 兵 庫県蚕試, 鹿児島県蚕 試. (7)	一般雑草に対し, 夏期 雑草生育期, 茎葉処理, 200~300ml/10a.	実 ・ 継	同 上
OK- 622 	液	1,1'-ジメチル-4,4'- ビピリジウムジクロリ ド 24 %	大塚化学 薬 品	宮城県蚕試, 福島県蚕試, 山梨県蚕試,	散布桑園からの収穫・ 給与, [夏期雑草生育 期, 茎葉散布,	実 ・ 継	同 上

薬 剤 名 ●種類名 ○商品名	剤型	有効成分および含有率	委託会社名	担 当 場 所	試験のねらい,処理方法, 処 理 時 期, 散 布 葉 量	今回 判定	判定理由または内容
●パラコ ート ○				熊本県蚕試, 宮崎県総農 試. (5)	200~300ml/10a). (2期飼育)		

B 生育調節剤

ACP- 68-250 ●植物調 節剤 ○エスレ ル10	液	α-クロロエチルホス ホン酸 10%	2,4-D協 議会(石原 産業)	農林省蚕試, (1)	機械収穫との組合わせ による摘採の効率化, 散布処理. 500,1000,2000ppm.	継	圃場における散布に よる効果と葉害の有 無再検討.
MC-C ● ○ミクロ ンC	乳	パラフィンカルナバ固 型分 40%	日本技研	群馬県蚕試, 山梨県蚕試, 徳島県蚕試. (3)	収穫前の桑葉への散布 (20~50倍液)による 蒸散抑制. (萎凋防止)	継	30~50倍液. 条件をかえて再検討.
MC-C ● ○ミクロ ンC	乳	同 上	日本技研	山梨県蚕試. (1)	20, 30, 50 倍液散布 桑葉の給与(2期飼育).	継	蚕飼育例数不足.

昭和51年度リング関係除草剤・ 生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和51年度リング関係委託試験成績検討会は、
昭和52年2月25日、盛岡市(岩手県職員共済会館)において、試験場関係者25名、委託者(会社関係者)25名、当協会5名が出席して開催

された。
今回は、除草剤8薬剤、生育調節剤4薬剤に
ついて検討されたが、その判定結果は次表の通
りである。

昭和51年度 リング関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定表

A 除 草 剤

薬 剤 名 ●種 類 ○商 品 名	作 物 名 〔対象草種〕	剤型	有効成分および 含 有 率	委 託 者	担 当 場 所 〔〕内は自主試験	試験の種類: 処理方法; 処理 時期; 散布葉量	新継 の別 今回 判定	判 定 理 由 ま た は 内 容
1.CG-116 ● ○	リング園下草 〔1年生イネ科〕 〔・広葉雑草〕	水和	CAT: 2-クロ ル-4,6-ビス エチルアミノ S-トリアジン	日本チバ ガイギー	効果: 青森りん ご試, 秋田果 試, 福島園試, 長野農総試果	適用性試験(殺 草効果, 特に葉 量と処理時期の 検討と葉害の有	新規 継	試験年次不足. 〔1~1.5kg /10aの効 果の確認と〕

薬 剤 名 ・種 類 ○商 品 名	作 物 名 〔対象草種〕	剤 型	有効成分および 含 有 率	委 託 者	担 当 場 所 〔 〕内は自主試験	試験の種類； 処理方法；処理 時期；散布薬量	新規 の別 今回 判定	判 定 理 由 または 内容
1.CG-116 (つづき)			25 % GS-14259: 2-メトキシ- 4-エチルアミ ノ-6-tert -ブチルアミノ -8-トリアジ ン 25 %		試、 薬害：果試盛岡 支場、富山農 試魚津果樹分 場。	無)；茎葉兼土壌 ；春期(5月、 草丈20cm以下)、 夏期(7月、草 丈30cm以下)； 0.5, 1.0, 1.5kg。 〔薬害①春・夏 各3kg連用、② 春7.5kg1回。〕		〔薬害について 検討する。〕
2.DBN ・ D B N ○ カソロン6.7	リンゴ園下草 〔畑地一般〕 雑草(特に 広葉一般)〕	粒	2,6-ジクロル ベンゾニトリル 6.7 %	北興化学 工業、兼 商	効果：北海道中 央農試、青森 畑作園試、富 山農試魚津果 樹分場。 薬害：岩手園試、 長野農総試果 試。	適用性試験(わ い性合木園への 適用拡大および 薬害)；土壌処理 ；雑草発生直前 または発生初期 ；4, 6, 8kg。〔薬 害①春・夏各 12kg②30kg 1回。〕	継続 継	処理時期およ び薬害について。
3.DPX-11 08 ・ ○ クレナイト	リンゴ園下草 〔宿根性雑草〕	液	アンモニウム- エチルカーバ モイルホスホネ ート 42 %	デュポン ・ファ ーイースト 日本支社	効果：秋田果試 花輪分場。 薬害：果試盛岡 支場。	適用性試験(宿 根性雑草に対す る効果とリンゴ 樹に対する薬害) ；茎葉(薬害は 土壌)；春期(5 月、草丈20～30 cm時)、夏期(7 月、草丈20～30 cm時)；0.2, 5, 0.5, 1.0l。〔薬 害①リンゴ枝 葉処理)春・夏 1.0l。②春・夏 各2l連用、③ 春5l1回。〕	新規 継	試験年次不足。 〔効果の再確 認と次年度 におよぶ薬 害について。〕
4.EH-275 ・ DCMU・タ ーバジル ○ゾーバー	リンゴ園下草 〔畑地1年生〕 雑草全般〕	粒	DCMU:3-(3, 4-ジクロルフ ェニル)-1,1 -ジメチル尿素 1.25 % ターバシル:3 -tert-ブチ ル-5-クロル -6-メチルウ ラシル 1.25 %	丸和バイ オケミカ ル	効果：青森畑作 園試、秋田果 試。	適用性試験(清 耕園維持剤とし ての効果の確認) ；土壌；春期(雑 草発生初期)；6, 8, 10 kg。	新規 継	試験年次不足。 〔効果の再確 認と薬害に ついて。〕

薬 剤 名 類 ○ 商 品 名	作 物 名 〔対象草種〕	剤型	有効成分および 含 有 率	委 託 者	担 当 場 所 〔 〕内は自主試験	試験の種類； 処理方法；処理 時期；散布薬量	新継 の別 今回 判定	判 定 理 由 または内容
5.MCP・DC MU・DPA ・MCP・DCM U・DPA ○ボミカル DM	リンゴ園下草 〔下草全般〕	水和	MCP：2-メチ ル-4-クロロ フェノキシ酢酸 13.5% DCMU：3-(3, 4-ジクロルフ ェニル)-1,1 -ジメチル尿素 15% DPA：2,2-ジ クロロプロピオ ン酸ナトリウム 45%	石原産業	効果：秋田果試， 石川農試， 葉害：岩手園試， 山形園試。	適用性試験（草 生園での刈取代 用剤としての効 果確認と葉害）； 茎葉（葉害は土 壌）；春期，夏期 （共に雑草草丈 20～30cmまで処 理）；1,1.5kg。 〔葉害①春・夏 各3kg連用，② 春75kg1回〕	新規 継 続	試験年次不足。 〔効果の再確 認と葉害に ついて継続 検討。〕
6.SSH-43 ・ ○	リンゴ園下草 〔1年生雑草〕 全般	水和	未 公 開 50%	塩 野 義 製 薬	効果：山形園試， 群馬園試（北 部試験地），長 野農総試果試。 葉害：宮城農業 センター園試。	適用性試験（成 木園での樹冠下 および清耕園維 持剤としての効 果確認と葉害）； 茎葉（葉害は土 壌）；春期（4月 中～下旬）；0.3， 0.4，0.5kg。 〔葉害①春・夏 各0.8kg連用， ②春2.0kg1回〕	中止	葉害の危険性 大。
7.トリフルラ リン ・トリフルラ リン ○トレファノ サイド	リンゴ園下草 〔1年生イネ 科およびナ デシコ・ア カザ・ヒユ ・スベリヒ ユ科など〕	粒	α,α,α -トリフ ルオール-2,6- ジニトロ-N,N -ジプロピル パラートルイ ジ ン 2.5%	塩 野 義 製 薬	効果：葉害：青 森りんご試，宮 城農業センター 園試。	適用性試験（幼 木樹冠下への土 壌処理による葉 害の有無と除草 効果）；土壌混和 ；中耕・除草後 雑草発生前； 9kg，〔葉害①春 ・夏各18kg単 用，②春45kg〕	継続 実 行	イネ科雑草優 占圃場での春 季雑草発芽前 に土壌とロー タリー混和す る。 6～9kg/ 10a。
8.Suster ・ ○サスター	リンゴ園下草 〔イネ科雑草， 牧草〕	乳	N-(2,4-ジメ チル-5-〔(1, 1,1-トリフル オルメチル)サ ルフォニル〕ア ミノ〕フェニル〕 アセトアמיד 48%	日産化学 工 業	効果：青森畑作 園試，秋田果 試花輪分場， 福島園試，石 川農試，〔果試 盛岡支場〕， 葉害：山形園試， 富山農試魚津 果樹分場。	適用性試験（抑 草と刈取省力性 の検討）；茎葉 （葉害は土壌）； 春期刈取直後と その再生開始期 または30cm伸長 時刈取後の2回 連用）；0.3， 0.6l，〔葉害① 春・夏1.2l連用， ②春3.0l1回。〕	継続 実 行 継	実：イネ科草 種園での春 季刈取直後 およびその 再生草の刈 取直後の2 回連用する。 0.3l/10a。 継：草種（有 効草種をよ りはっきり させる）。葉 量（低葉量 の効果），葉 害について。

B 生育調節剤

薬 剤 名 ・種 類 ○商 品 名	作 物 名 〔 目 的 〕	剤型	有効成分および 含 有 率	委 託 者	担 当 場 所 〔 〕内は自主試験	試 験 の 種 類 ; 処 理 方 法 ; 処 理 時 期 ; 散 布 薬 量	新 規 の 別	判 定 理 由 ま た は 内 容
							今 回 判 定	
1. Ca CO ₃ ・炭酸カルシウム ○クレフノン P	ふじまたはゴールデン・デ リシャス 〔小袋省略・サビ防止〕	粉	Ca CO ₃ (炭酸カルシウム) 95 % 有機ポリマー 5 %	白石カルシウム	ゴールデン・デ リシャス ; 青 森りんご試 秋田果試, 群 馬園試北部試 験地. 津軽 : 長野農総 試果試.	適用性試験 (小袋を省略し, Ca CO ₃ 剤散布によるサビ果防止); 立木全面散布; 落花直後, 10 日後, 20 日後の前 者 2 回から 3 回散布; 30 倍液.	継続 継続?	ゴールデンおよび津軽に対し効果不十分 (全期無袋・小袋省略).
2. B-995 ・ ○ビーナイン	(ゴールデンを除く) デリ シャス系 〔落果防止〕	水溶	N-(ジメチルアミノ)ースク シンアミド酸 80 %	日本曹達	青森畑作園試, 秋田果試, 長野 農総試果試.	適用性試験 (低濃度での収穫前落果防止); 立木全面散布; 満開後 3~4 週間; 2,000, 3,000 倍液.	継続 実・継	実: デリシャス系に対し, 満開後 3~4 週間から収穫前 45 日迄に使用, 2,000 倍液. ただし銅剤散布前 1 週間以内および銅剤散布後の使用では葉害の危険性がある. 継: 葉害について銅剤との関係, 他品種への適用.
3. J-455 ・ ○	デリシャス系 〔落果防止〕	乳	5-クロロイン ダゾール酢酸 -エチルエステル 20 %	日産化学工業	果試盛岡支場, 青森りんご試, 長野農総試, [岩 手園試, 山形園 試, 群馬園試北 部試験地].	基礎および適用性試験 (収穫前落果防止); 立木散布; 収穫 25 日 および 15 日前の 2 回; 20, 40ppm.	新規 継?	効果不十分.
4. P P-341 ・ ○	スターキング 〔ジュンドロップ 防止〕	水和	未 公 開	I. G. I	果試盛岡支場, 青森りんご試, 長野農総試果試.	適用性試験 (ジュンドロップの防止効果の確認); 立木散布; 0.5, 1.0 kg/1000 l/10 a.	新規 継?	効果不十分.

昭和51年度落葉果樹関係除草剤・ 生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和51年度落葉果樹関係委託試験成績検討会
は、昭和52年1月25日、東京（新橋・大東京ビル）において、試験場関係者38名、委託者（会社関係者）33名、当協会8名が出席して開催

された。

今回は、除草剤3薬剤、生育調節剤5薬剤について検討されたが、その判定結果は次表の通りである。

昭和51年度 落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定表

A 除 草 剤

薬 剤 名 ・種 類 ○商 品 名	作 物 名	剤 型	有効成分および 含 有 率	委 託 者	担 当 場 所	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量（／a）	新継 の別 今回 判定	判 定 理 由 または 内 容
1. CG-116 ・（トリアジン系） ○	ブドウ	水和	GAT：2-クロ ル-4,6-ビス エチルアミノ -S-トリアジン 25% GS-14259： 2-メトキシ- 4-エチルアミ ノ-6-tert -ブチルアミノ -S-トリアジ ン 25%	日本チバ ガイギー	果樹試験場安芸 津支場。	薬害試験（薬害の み検討）；茎葉兼土 壌；春（5月）、夏 （7月）；200+200g （2倍量2回処理） 500g（5倍量夏1 回処理）。	新規 中止	薬害あり。
2. Linuron ・リニューロン ○ ロックス	ナシ	水和	3-（3,4-ジ クロロフェニル） -1-メトキシ -1-メチル尿 素 50%	丸和バイ オケミカ ル	栃木農試、埼玉 園試、広島果試、 （以上薬効）。 鳥取果試（薬害）。	適用性試験（刈取 代用としての効果 と薬害）；全面土壌 ；雑草発生前～発 生初期；20, 30, 40 g（薬効），80g（2 倍連用），200g （5倍量）。	継続 実	〔春処理〕 雑草発生前～初 期300g/10a， 土壌処理。
3. SSH-36 ・アシュラム ・アイオキシ ニル ○アシュメッ クス	ブドウ	液	アシュラム：N- メトキシカルボ ニルスルフェニ ルアמיד （Na塩） 20%	塩野義 製薬	山形園試、大阪 農技センター（以 上薬効）。 山梨果試（薬害）。	適用性試験（1年 生および多年生、 特に広葉雑草対象 に効果と薬害）；茎 葉；雑草草丈10～ 15cm時；150, 200, 250, 300ml（以上	継続 中止	薬害あり。

薬 剤 名 ・種 類 ○商 品 名	作 物 名	剤 型	有効成分および 含 有 率	委 託 者	担 当 場 所	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量（／a）	新継 の別 今回 判定	判 定 理 由 ま た は 内 容
3.SSH-36 (つづき)			アイオキシニル： 3,5-ジオー ド-4-ヒドロキ シベンゾニトリ ル（Na塩） 3%			薬効、但し1年 生対象の場合は 150, 200ml, 600ml（2時期 反復2倍量）, 1500ml（1時期 5倍量）.		
4.SSH-36	ナ シ	液	同 上	同 上	埼玉園試、鳥取 果試（以上薬害）. 長野農総試南信 地方試（薬害）.	同 上	継続 実 ・ 継	実：〔春処理〕茎 葉；雑草草丈 10~15cm時、 2,500~3,000 ml/10a. 継：〔夏処理〕の 濃度、薬害.
5.SSH-36	カ キ	液	同 上	同 上	岐阜農試、和歌 山果園試紀北分 場（以上薬効）. 新潟離島農業セ ンター（薬害）.	同 上	新規 実 ・ 継	実：〔春処理〕茎 葉；雑草草丈 10~15cm時、 2,500~3,000 ml/10a. 継：〔夏処理〕散 布量の検討、 薬害.
6.SSH-36	モ モ	液	同 上	同 上	福島園試、岡山 農試（以上薬効）. 山梨果試（薬害）.	同 上	新規 中 止	薬害あり.

B 生育調節剤

1. 4-CPA ・単為結果剤 ○トマトーン	ブ ド ウ 〔巨峰〕	液	4-クロロフェ ノキシ酢酸 0.15%	2,4-D 協 議 会 〔石原産 業、日 産化学〕	栃木農試、神奈 川園試、長野農 総試中信地方試、 岡山農試.	適用性試験（単為 結実）；花房浸漬； 開花1週間（5~ 10日）前；15, 30, 75ppm（100, 50, 20倍液）.	新規 継	1. 濃度 2. 処理時期等. （樹勢の強弱 との関係）.
2.ACP-68 -250 ・着色成熟促 進剤 ○エスレル	ブ ド ウ 〔巨峰〕	液	2-クロロエチ ルホスホン酸 10%	同 上	栃木農試、山梨 果試、奈良農試、 福岡園試.	適用性試験（着色 成熟促進）；立木全 面散布；着色前期 （8月中~下旬頃） ；75, 100, 150 ppm.	新規 継	1. 濃度. 2. 処理時期等. 3. 脱粒をみる. 特に収穫後 のエチレン 濃度ををはか る）.
3.ベンジルア デニン(BA) ・花振い防止 剤 ○ビーエー	ブ ド ウ 〔マスカ ット、 ベリー A〕	液	N ⁶ -ベンジルア ミノプリン 3%	クミアイ 化学工業	果樹試験場安芸 津支場、岡山農 試、広島果試、 福岡園試.	適用性試験（花振 い防止）；花房浸漬 ；満開10, 13日前 ；100ppm.	新規 継	濃度、処理時期 と樹勢について.

薬 剤 名 ・種 類 ○商 品 名	作 物 名	剤 型	有効成分および 含 有 率	委 託 者	担 当 場 所	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量（／a）	新規 の別 今回 判定	判 定 理 由 ま た は 内 容
4.TG-75 ・単為結果・ 熟期促進剤 ○ジベレリン	ブドウ 〔デラウ エア〕	顆粒	2β, 4α, 7 -トリヒドロキ シ-1β-メチル -8-メチレン ジブ-3-エン -1α, 10β- ジカルボキシル 酸 1α 4α クラトン 5%	武田薬品 工 業	山形園試, 長野 農総試中信地方 試, 山梨果試, 石川砂丘地農試, 大阪農技センタ ー, 島根農試, 香川農試府中分 場.	適用性試験（単為 結果の年次変動）； 花蕾浸漬および果 房浸漬；満開予定 約14日前および満 開10日後；100ppm.	継続 実	〔デラウエア〕 従来の市販製品 に準ずる.
5.TG-75	ブドウ 〔マスカ ット・ ベリー A〕	顆粒	同 上	同 上	岡山農試, 広島 果試, 福岡園試.	同 上 〔但し花蕾浸漬 は10～15日前.〕	継続 実	〔マスカット・ ベリーA〕 従来の市販製品 に準ずる.
6.GA ・単位結果・ 熟期促進剤 ○ジベレリン	ブドウ 〔アーリ ー・ス チュー ベン〕	顆粒 または錠	同 上 顆粒 3.1% 錠 2.78%	日本ジベ レリン研 究会（事 務局；協 和醗酵）	青森畑作園試, 岩手園試, 山梨 果試, 石川砂丘 地農試.	適用性試験（無核 果化, 熟期促進）； 果防浸漬；満開18, 16, 14, 12日前お よび満開10日後.	新規 継	1. 処理時期・ 濃度. 2. 効果の変動 要因について. 〔特に湿度・樹 勢について.〕
7.ACP-68 -250 ・肥大・成熟 促進剤 ○エスレル	ナシ	液	2-クロロエチ ルホスホン酸 10%	2,4-D 協 議 会 〔石原産 業, 日 産化学 工 業〕	福島園試, 千葉 農試, 神奈川園 試, 長野農総試 南信地方試, 新 潟園試, 鳥取果 試, 福岡園試.	適用性試験（低濃 度2回散布法によ る肥大熟期促進効 果, 従来法との比 較）；立木全面散布 ；果径30～35mm 時および満開100 ～110日後；25ppm.	継続 実・ 継	実：（二十世紀： 熟期促進・着 色）果径30～ 35mm時, 25 ppm1回, 立 木全面散布, 注意事項は慣 行法と同じ. 継：他品種で処 理濃度・時期 について.
8.ACP-68 -250	カキ 〔富有〕	液	同 上	同 上	岐阜農試, 和歌 山果園試紀北分 場, 香川農試府 中分場.	適用性試験（早期 処理法による肥大 ・成熟促進効果）； 立木全面散布；肥 大第3期（従来法 は着色開始期）；20, 30ppm（従来法は 30ppm）.	新規 継？	効果不足.
9.ACP-68 -250	カキ 〔平核無〕	液	同 上	同 上	山形園試砂丘分 場, 新潟離島農 業センター, 和 歌山果園試紀北 分場.	同 上 （但し散布濃度は 10, 20ppm）.	新規 継	1. 処理時期, 濃度. 2. 脱渋法につ いて.
10.ACP-68	オオトウ	液	2-クロロエチ	2,4-D	青森畑作園試,	適用性試験（成熟	継続	実：〔ナボレオン〕

薬 剤 名 ・種 類 ○商 品 名	作 物 名	剤型	有効成分および 含 有 率	委 託 者	担 当 場 所	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量（／a）	新継 の別 今回 判定	判 定 理 由 ま た は 内 容
ー 250 ・肥大・成熟 促進剤 ○エスレル	〔ナポレ オン・ 佐藤錦〕		ルホスホン酸 10%	協 議 会 〔石原産 業、日 産化学 工 業〕	山形園試、	促進効果・うるみ 果・裂果・軸抜け の検討；立木全面 散布；収穫3～2 週間前25～50 ppm.	実 ・ 継	満開後4週間、 収穫前3週間、 25～50 ppm 立木全面散布。 継：〔佐藤錦〕 処理濃度、時 期、変動要因 等の検討。
11.ACP-68 ー 250	モ モ	液	同 上	同 上	山梨果試、	適用性試験（低濃 度散布による適用 性の検討）、	新規 継	1. 処理時期、 濃度の検討。

昭和51年度常緑果樹関係除草剤・ 生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和51年度常緑果樹関係委託試験成績検討会
は、昭和52年2月16日、東京（渋谷・日本生活
協同組合連合会）において、試験場関係者47
名、委託者（会社関係者）42名、当協会6名

出席して開催された。

今回は、除草剤15薬剤、生育調節剤6薬剤に
ついて検討されたが、その判定結果は次表の通
りである。

昭和51年度 常緑果樹用除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定表

A 除 草 剤

薬 剤 名 ・種 類 ○商 品 名	作 物 名 〔対象 雑 草〕	剤型	有効成分および 含 有 率	委 託 者	担 当 場 所 〔 〕内は自主試験	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量（／a）	新継 の別 今回 判定	判 定 理 由 ま た は 内 容
1.DPX-11 08 ・ ——— ○クレナイト	ミカン類 〔ギシギ シ、カラ ムシヤ ブガラ シ等宿 根草ツ ユクサ〕	液	アンモニウム エチルカーバ モイルホスホネ ート	デュボン ファーイ ースト	果樹試験場興津 支場、香川農試 府中分場、熊本 果試、	適用性試験（宿根 草に対する効果・ 葉害）；茎葉；5月 初旬および梅雨後 ；50, 100, 200 ml.〔低：抑草、高 ：枯草〕。	新規 継	・試験年次不足。 ・雑木類に対す る効果確認。
2.EH-275 ・DCMU・タ ーパシール ○ ———	ミカン類 〔1年生雑 草全般〕	粒	DCMU：3-(3, 4-ジクロルフ ェニル) -1,1	丸和バイ オケミカ ル	果樹試験場興津 支場、広島果試、 香川農試府中分	適用性試験（水和 剤で既登録だが、 粒剤の薬量と効果	新規 継	・試験年次不足。 ・処理時期、散 布薬量について。

薬 剤 名 ・種 類 ○商 品 名	作 物 名 〔対 象 雑 草〕	剤 型	有効成分および 含 有 率	委 託 者	担 当 場 所 〔 〕内は自主試験	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量（／a）	新規 の別 今回 判定	判 定 理 由 ま た は 内 容
2.EH-275 (つづき)			ージメチル尿素 1.25% ターバシル：3 ーターシャリ ブチルー5ー クロルー6ー メチルウラシ ル 1.25%		場、	の確認)；全面土壌 ；春・夏（夏は梅 雨明けまで散布； 600, 800, 1000g.		
3.HW-422 -N ・DCPA・ NAC ○ワイダック	ミカン類 〔1年生〕 雑草全 般	水和	DCPA：3,4ー ジクロロプロ ピオンアニリ ド 40% NAC：1ーナフ チルーNーメ チルカーバメ ート 8%	保土谷化 学 工 業	果樹試験場安芸 津支場，香川農 試府中分場，佐 賀果試， 〔果試興津支場〕	適用性試験（ワイ ダック乳剤との比 較，展着剤無添加 水和剤の効果確認 ；茎葉；春および 夏；180, 250g.	新規 継	・試験年次不足。 ・濃度の検討。 (薬量，溶解性 など)。
4.HW-422 -X ・ ○	ミカン類 〔1年生〕 雑草全 般	水和	DCPA：3,4ー ジクロロプロ ピオンアニリ ド 40% X：カーバメ ート系(未公開) 8%	同 上	果樹試験場興津 支場，静岡柑試， 広島果試，愛媛 果試，福岡園試。	同 上	新規 継	・試験年次不足。 ・製剤上の問題 (残渣が残る)。 ・剤型，濃度の 検討。
5.NP-48 (Na) ・カルボジメ ドン ○	ミカン類 〔イネ科〕 雑 草	水和	2ー〔1(Nーアリ ルオキシアミノ) ーブチリデン〕 ー5,5ージメチ ルー4ーメトキ シカルボニルー シクロヘキサン ー1,3ージオン Na塩 75%	日本曹達	果樹試験場興津 支場，同口之津 支場，四国農試。	適用性試験（イネ 科雑草，とくに多 年生の抑草と翌年 への影響)；茎葉； ススキ・チガヤ生 育期（草丈40～80 cm時）50, 100, 150g.	新規 継	・試験年次不足。 ・次年度の再生。 ・処理時期。 ・継続使用の影 響。
6.RH-2915 ・D ・ ○	ミカン類 〔1年生〕 雑草全 般	水和	RH-2915：2 ークロロー4 ートリフルオ ロメチルフェ ニルー3ーエ トキシー4ー ニトロフェニ ルエーテル 30%	三洋貿易	静岡柑試，山口 大島柑試，熊本 果試。	適用性試験（下草 1年生雑草に対す る草丈・草量と効 果の関係，低薬量 での効果確認)；茎 葉；春・夏のイネ 科雑草25～50cm時 ；20, 60g.	継続 実	・春・夏のイネ 科雑草25～50 cmの時，300 ～600g/10a， 水量200L。 ・実用化試験〔 使用法の確立 試験を実施， 適用について

薬 剤 名 ● 種 類 ○ 商 品 名	作 物 名 〔対 象 雑 草〕	剤 型	有効成分および 含 有 率	委 託 者	担 当 場 所 〔 〕内は自主試験	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布葉量（／a）	新継 の別 今回 判定	半 定 理 由 ま た は 内 容
6. RH-2915・D (つづき)			DCMU：3-(3, 4-ジクロロフ ェニル)-1,1 -ジメチル尿素 30%					の試験を綿密 にやる}.
7. SL-55 ● _____ ○ _____	溫洲ミカ ン 〔1年生〕 〔雑草〕	水和	2-クロロ-4 -トリフルオル メチルフェニル -4'-ニトロフ ェニルエーテル 40%	石原産業	四国農試.	適用性試験（瀬戸 内海地方での効果 確認と夏草への拡 大）；茎葉；① 春草 生育期；② 梅雨明 け生育期；50,75g.	継続 実	・春草対象； 300~700g ／10a, (昨年 通り).
8. SL-501 ・ P ● _____ ○ _____	溫洲ミカ ン 〔1年生〕 〔雑草〕	水溶 + 液	未 公 開	石原産業	果樹試験場興津 支場，香川農試 府中分場，福岡 園試.	適用性試験（使用 時混用による1年 生全般に対する除 草効果）；茎葉；梅 雨明け生育期；SL -501；30g, P;20, 30mL.	新規 継	・試験年次不足. ・混剤のP剤を 他に変える.
9. SL-502 ・ P ● _____ ○ _____	溫洲ミカ ン 〔1年生〕 〔雑草〕	水溶 + 液	未 公 開	同 上	果樹試験場興津 支場，香川農試 府中分場，福岡 園試.	同 上 (SL-501・Pと の比較).	新規 継	・試験年次不足. ・混剤のP剤を 他に変える.
10. SSH-43 ● _____ ○ _____	溫洲ミカ ン 〔1年生〕 〔雑草〕	水和	未 公 開 50%	塩 野 義 製 薬	静岡柑試，和歌 山果園試，香川 農試府中分場.	適用性試験（早春 処理による春期除 草と梅雨期の草量 の抑制，葉害）；茎 葉；4月上旬およ び梅雨明け後（雑 草10~15cm時まで） ；30, 40, 60g(葉 害は40×5g).	新規 継？	・試験年次不足. ・葉害の問題.
11. TAW-16 ● DCPA・ MTMC・ DCMU ○ _____	ミ カ ン	水和	DCPA:3,4-ジ クロロプロピオ ンアニリド 45% MTMC:メタト リル-N-メチ ルカーバメート 9% DCMU:3-(3, 4-ジクロルフ ェニル)-1,1 ジメチル尿素 7%	ト モ ノ 農 薬	三重農技紀南か んきつセンター， 大阪農技センタ ー，愛媛果試， 福島園試，佐賀 果試.	適用性試験（梅雨 明け後の夏草防除 および葉害）；茎葉 ；7月；100,150g. 〔水量15, 30l〕	継続 実・ 継	実：7~8月の 夏季1~15kg, 雑草茎葉処理. (前年通り). 継：草量と葉量 の関係につい て，(草量の多 い所で).
12. Suster+ CF-125	ミ カ ン	水和	Suster (MBR	日産化学 工 業	果樹試験場興津	適用性試験（伸長	新規	・試験年次不足.

薬 剤 名 名 ○ 種 類 ○ 商 品 名	作 物 名 〔対象雑草〕	剤 型	有効成分および 含 有 率	委 託 者	担 当 場 所 〔 〕内は自主試験	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量（／a）	新 継 の 別 今回 判定	判 定 理 由 ま た は 内 容
12. Suster + CF-125 (つづき) ● ○	〔下草全 般〕		-12325): N- 〔2,4-ジメチ ル-5-〔(1, 1,1-トリフル オロメチル) サ ルフォニル〕ア ミノ〕フェニル〕 アセトアמיד 20% OF-125 (モル ファクチン):メ チル-2-クロ ロ-9-ヒドロ キシフルオレン -(9)-カルボ キシレート 20%		支場, 四国農試, 宮崎総農試,	抑制による草管理 と刈取省力化); 茎 葉; 刈取 3~4 日 後; 100, 150g.	継	・〔抑草剤として〕 処理時期と濃 度の検討。 (イネ科雑草の 抑制程度, 持 続期間の検討)。
13. VEL-26 ●〔チアジア ゾール系〕 ○	パイナッ プル 〔畑地雑 草全般〕	水和	1- (5-ブチ ル-1,3,4-チア ジアゾール-2- イル)-3-メチ ル-5-ハイドロ キシ-2-イミダ ゾリジノン 75%	ベルシコ ール・バ シフィッ ク・リミ テッド	沖縄農試八重山 支場。	適用性試験 (低薬 量での除草効果と 薬害および土質と 有効薬量の関係); 茎葉兼土壌; 雑草 発生直後~3,4 葉 期 5~25 g.	継続 継?	・薬害
14. MON- 39 ●グリフォセ ート ○ラウンドア ップ	ミ カ ン 〔下草全 般〕	乳	{ N-(フオスフ オロメチル) グ リシン } + (イ ソプロピルアミ ン) 塩 41.5 %	日本モン サ ン ト	沖縄農試名護支 場。 〔大分柑試〕	適用性試験〔50年 度試験および自主 試験〕	継続 実 ・ 継	実: 0.25L/雑草 茎葉処理 (前 年通り)。 継: 宿根草につ いて, 低濃度 で検討。
15. M & B- 9057 ●アシュラム ○アージラン	ミ カ ン 〔カラム シ〕	液	N'-メトキシカ ルボニルスル フェニルアミド ナトリウム 37 %	塩 野 義 製 薬	〔大分柑試津久 見分場〕。	自主試験。		
16. プロマシル ●プロマシル ○ハイバーX	カタタチ 〔1年生 雑草全 般〕	水和	5-ブロム-3- セコンダリー ブチル-6-メ チルウラシル 80 %	デュボン ・ファ ーイースト	〔静岡柑試〕。	自主試験。		

B 生育調節剤

薬 剤 名 ・種 類 ○商 品 名	作 物 名 〔目的〕	剤型	有効成分および 含 有 率	委 託 者	担 当 場 所 〔 〕内は自主試験	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量（／a）	新継 の別 今回 判定	判 定 理 由 また は 内 容
1. Ca CO_3 ・炭酸カルシ ウム剤 ○クレフノン	温州ミカ ン等 〔浮皮軽 減，予 措減酸〕	粉剤 〔水和 性〕	Ca CO_3 （炭酸カ ルシュウム） 95 % 有機ポリマー等 5 %	白石カル シュウム	果樹試験場興津 支場・口之津支 場，四国農試， 神奈川園試根府 川分場，静岡柑 試，和歌山果園 試，愛媛果試， 高知果試，福岡 園試，佐賀果試， 〔香川農試府中 分場，大分柑試 津久見分場，宮 崎総農試〕。	適用性試験（味の 改善，果面保護， 早期出荷，貯蔵性 の向上）立木枝葉 全面散布；〔目的 により異なる〕；50～ 100 倍。 〔使用法確立試験〕	継続 実	実：〔予措効果〕 10月～収穫直 前まで，50倍 液1回処理。
2. Si O_2 ・二酸化ケイ 素剤 ○シオノック ス	早生温州 ミカ ン 〔白焼果 防 止〕	水和	Si O_2 （二酸化 ケイ素） 75 %	塩 野 義 製 菓	神奈川園試根府 川分場，熊本果 試，鹿児島果試。	適用性試験（日焼 果・炭そ病発生防 止）；8月上旬，下 旬またはその重複 散布；30倍液30 L。	新規 継	・試験年次不足。 ・処理時期と剤 型の検討。 ・浮皮防止効果 について（軽 くて溶かすと きに困難）。
3. HCC - 733 ・3,4 DP ○ _____	温州ミカ ン 〔浮皮防 止〕	乳	3,4-ジクロル フェノキシ酢酸 ブチルエステル 60 %	保土谷化 学 工 業	果樹試験場口之 津支場，四国農 試，福岡園試， 長崎果試，鹿児 島大学。 〔広島果試，香 川農試府中分場， 熊本果試，大分 柑試，同津久見 分場，宮崎総農 試〕。	適用性試験（浮皮 防止）；立木全面散 布；着色始期（3 分着色期）；100， 150ppm。	継続 継	・処理時期を早 める。 ・処理時期，濃 度，貯蔵性， 品質，着色に ついて。
4. J - 455 ・ _____ ○ _____	温州ミカ ン等 〔摘 果〕	乳	5-クロロイ ンダゾール酢酸 一エチルエステ ル 20 %	日産化学 工 業	果樹試験場興津 支場・口之津支 場，神奈川園試 根府川分場，静 岡柑試，愛知農 総試蒲郡支所， 三重紀南かんき つセンター，大 阪農技，和歌山 果園試，広島果 試，山口大島柑 試，香川農試府 中分場，愛媛果 試，徳島果試，	適用性試験（摘果 剤としての利用性 確立と品質への効 果等の検討）。 〔散布時期・濃度 については試験場 一任〕	継続 継	安全使用法確 立のための試 験

薬 剤 名 ・種 類 ○商 品 名	作 物 名 〔目的〕	剤 型	有効成分および 含 有 率	委 託 者	担 当 場 所 〔 〕内は自主試験	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量（／a）	新継 の別 今回 判定	判 定 理 由 または 内 容
4. J-455 （つづき）					高知果試，福岡 園試，佐賀果試， 熊本果試，大分 柑試，宮崎総農 試，鹿児島果試， 千葉大学，愛媛 大学，〔大分柑 試津久見分場〕			
5. TIBA ・ _____ ○ ジョ ン カ ラ ー	温州ミカ ン 〔摘果〕	水溶	2,3,5-トリヨ ード安息香酸ナ トリウム 45%	兼 商	〔佐賀果試〕	自主試験。		
6. ACP-68 -250 ・ エチレン剤 ○ エスレル	キンカン， ボンカン 〔着色〕	液	2-クロロエチ ルホスホン酸 10%	2,4-D 協 議 会	〔鹿児島大学， 鹿児島農試大島 支場〕	自主試験。		

外 国 文 献 抄 録

Influence of Climate and Additives on Bentazon.

JOHN D. DALEWAJA, JERZY PUDELKO
and K. A. ADAMCZEWSKI

あおびゆ (*Amaranthus retroflexus* L.)
に対するベンタゾンの抑草効果が，気象条件(気
温・湿度・降雨)および或る種の油性添加剤に
よって変化することの想定をもってこの実験を
行った。

材料および方法

アオビユの種子を，425 ml の容器に粘土・砂
・堆肥の混合土に播種し，温室で育てた。発芽
後，1ポット当り5個体に間引いた。

処理剤としてベンタゾンおよびこれに石油乳
剤 (P O) または亜麻仁油乳剤 (L O) を加用

したものを用いた。

① 植物が5cmに伸びたとき，ベンタゾン単用
(0.4kg/ha) およびP OまたはL Oを加用処
理した。処理から0.75, 1.5, 3, 6, 24時間
後に，9800l/haの水をさんぷした(人工降雨)。

② 植物が4～5L, 6～8cmに伸びたとき，
ベンタゾン1.0kg/haおよび0.7kg/ha単用，
またはP O, L O加用によって処理した。

処理1.5時間後に人工降雨 650, 1300, 2600,
5200, 10,400, 20,900l/haそれぞれ別々の区
に処理した。

③ 少量の散水でベンタゾンの抑草効果が助長
されるという事実にもとずいて，ベンタゾン
0.2kg/haで処理し，1, 2, 4, 8, 24時
間後に180l/haの散水を行った。この実験で
は，P O, L Oの外にSurfactant (CIT)⁴
を加えた。

④ この実験では、植物を処理後直ちに人工気象室に移し、無処理区が12～15cm(10～20日)になったとき収穫して生草重の比率を求めた。人工気象室では、温度を10℃、20℃、30℃とし、湿度は低湿で52%—10℃、40%—20℃、30%—30℃とし、多湿で100%とした。ベンタゾンならびに添加剤加用の処理は0、0.14、0.3、0.6、0.9kg/haであった。

結果の概要

1. 降雨の影響

a. 処理後の降雨開始時間——9800l/haの人工降雨は、ベンタゾンおよび添加剤加用処理による抑草効果をどの時間においても低減する。降雨時間が早いほど抑制率が落ちている。

降雨時間に関係なく、抑制率は添加剤加用が高くなり、LO、POおよびベンタゾン単用の順になっている。すなわち、処理1.5時間後に上記の降雨にあったとしても、ベンタゾン単用にくらべて、LO 24%、PO 19%高い抑制率を示す。

b. 降雨量——処理1.5時間後に降雨量を変えた処理では、650l/haが無降水より高く、1300l/haがほぼ無降水と同程度の抑制率となるが、これより雨量が増加するにつれて減少している。

ここでも、添加剤加用は有効であり、全処理平均で、抑制率はLO 43%、PO 39%、ベンタゾン単用31%であった。

2. 少量散水の影響

180l/haの少量散水を処理に行うことによって抑制率を高める。2時間後の散水が最も有効であった。(表1)、これは、植物体の表面からベンタゾンの吸収を高める作用によるものであろう。それで、ベンタゾンの処理は午前よりも午後おそくして夜露に会わした方が有利である。

表1：ベンタゾン並に添加剤処理後少量散水による抑草効果

処 理 後 散 水 時	ベンタゾン 単 用	添 加 剤			平 均
		PO	LO	CIT	
(時)	%	%	%	%	%
無さんぶ	36	62	67	62	57
1	48	78	79	72	69
2	47	81	86	76	72
4	46	73	79	71	67
8	41	71	77	70	65
24	39	67	69	67	60
平 均	43	72	76	70	

(注) ベンタゾル 0.2kg/ha 処理、散水量180l/ha。

3. 温度・湿度の影響

ベンタゾンの抑草効果は多湿条件で高く、乾燥条件で低くなる。10℃において、多湿では90%に対し、乾燥では20%に止る。しかし、乾燥状態でも、PO、LOの添加によって抑制率を高めることができる。多湿条件では添加剤の効果は著しくない。多湿条件では、10℃が20℃、30℃よりも有効である。

(Weed Science vol, 23 No. 6, 1975)

植 調 協 会 だ よ り

◎ 会議開催日程のお知らせ

・第33回役員会

日 時：昭和52年5月25日、15～17時

場 所：三井東圧化学(株)大会議室(東京都千代田区霞が関3-2-5)

・昭和51年度秋冬作野菜・花き関係除草剤、生育調節剤試験成績検討会

日 時：昭和52年6月28～29日(予定)

場 所：名古屋市(予定)

一日瞭然効きめが見える

水田多年生雑草防除に

バサグラン^{*}粒剤 水和剤

適用雑草 ● ミスガヤツリ・ホタルイ・ウリカフ・ヘラオモダカ・水田一年生広葉雑草

新発売

効きめと安全の信頼にこたえる



住友化学

東京都中央区日本橋2丁目7番9号

取扱メーカー

クミアイ化学・三共・サンケイ化学

日本農薬・北興化学・八洲化学

(アイウエス南)

*は西ドイツBASF社の商標です。

昭和52年度

農薬（作物・土壌）残留量分析委員会開催日程表

年月日 (曜)	会議の名称 (委員会開催回数)	部 門		会 場 名 (所在地・電 話)
		作物残留	土壌残留	
S.52年 4.19(火) 20(水)	農薬残留量 分析委員会 (第1回)	第1回 (通算 55回)		日本都市セン ター(本館7) 千代田区平 河町2-4-1 TEL 265 - 8211
5.18(水) 19(木)	同 上 (第2回)	第2回 (通算 56回)	第1回 (通算 33回)	
6.7(火) 8(水)	農薬(作物・ 土壌)残留量 分析委員会 (合同会議)			
7.19(火) 20(水)	農薬残留量 分析委員会 (第3回)	第3回 (通算 57回)	第2回 (通算 34回)	

編 集 後 記

春の嵐の舞い過ぎた広野には、雨にぬれた雑草の緑もひととき美しく映える。枯野原のあちこちに緑色が敷きつめられ、明るい天地が生まれる。人間が、農業と雑草を考えると、農業生産にマイナスとならない範囲で雑草の存在を認めなければなるまい。今後の雑草防除は、雑草の枯殺でなく、作物の生育・収量にマイナスとならない程度に雑草の生育を抑制する、いわゆる抑草剤が台頭するようになるのではないだろうか。

年月日 (曜)	会議の名称 (委員会開催回数)	部 門		会 場 名 (所在地・電 和)
		作物残留	土壌残留	
S.52年 8.23(火)	農薬残留量 分析委員会 (第4回)	第4回 (通算 58回)		日本都市セン ター(本館7) 千代田区平 河町2-4-1 TEL 265 - 8211
9.21(水) 22(木)	同 上 (第5回)	第5回 (通算 59回)	第3回 (通算 35回)	
10.26(水)	同 上 (第6回)	第6回 (通算 60回)		
11.24(木) 25(金)	同 上 (第7回)	第7回 (通算 61回)	第4回 (通算 36回)	
12.16(金)	同 上 (第8回)	第8回 (通算 62回)		

財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都港区芝西久保桜川町26番地

電話 東京(03)502-4188(代)

昭和52年4月発行

植調第11巻第1号

¥250(送料140)

編集人 日本植物調節剤研究協会常務理事 吉沢長人

発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都港区芝愛宕町1-3 全国農村教育協会内

発行所 植調編集印刷事務所

電話 東京(03)436-3388番

もっと楽な除草を！

稚苗、成苗の除草にピッタリ！！

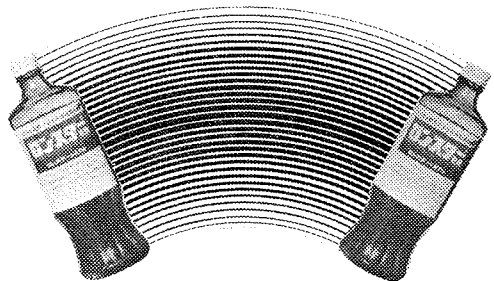
＊容器のまま田植前に散布できる水田除草剤

ロンスター[®]

乳剤

★特 長★

- 容器のままきわめて簡単に散布できます。
- 稚苗移植にも成苗移植にも安心して使用できます。
- すぐれた効果がきわめて長く続き経済的です。
- 機械散布もできます。



—ロンスター普及会—
日産化学・北興化学
昭和ローディア化学
事務局 日産化学工業(株)農薬事業部内
東京都千代田区神田錦町3-7-1

ガンコな水田雑草を退治しよう

水田の多年生雑草特効薬！

ウリカワ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・オモダカなどに抜群の効果！！

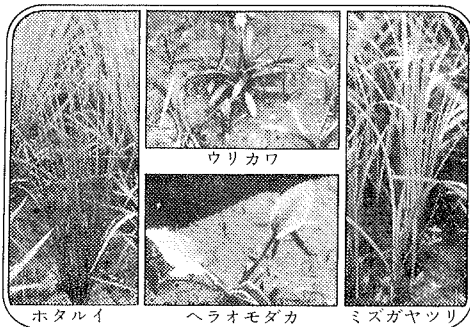
グラスジン[®]

D M 粒剤・水和剤

●グラスジンD剤 2,4PA・ベンタゾン含有 ●グラスジンM剤 MCP・ベンタゾン含有

特 長

1. いままでの除草剤では防除がむづかしい水田のウリカワ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・オモダカ・セリなどを強力に防除します。
2. 一年生広葉雑草の防除や水稻の倒伏防止、無効分けつ抑制にも役立ちます。
3. 雑草発生後に散布するので部分散布もできて経済的です。
4. 安全性の高い除草剤です。



—グラスジン普及会—

日産化学・石原産業

事務局 日産化学工業(株)農薬事業部内

＊ロンスター、エックスゴーニなどとの体系でお使いください。

種子から収穫まで護るホクコー農薬

お近くの農協でお求めください。

水田除草の体系に

ウリカワにも

● 水稻のヒエ・マツバイ・一年生雑草に卓効ウリカワにも

グラキール[®]粒剤1.5

● 容器のまま散布できる水田除草剤

ホクコー

ロンスター[®]乳剤

● ノビエに抜群ホタルイ・ミズガヤツリにも効く 初期除草剤

ホクコー

マーシェット粒剤



農業協同組合・経済連・全農



北興化学工業株式会社

〒103 東京都中央区日本橋本石町4-2
支店/札幌・東京・名古屋・大阪・福岡

すぐれた農薬をお届けします すぐれた“散布”をお届けします

● 温州みかん園の除草剤

デュボン

ハイバーX-

● 水の便の悪いみかん園の除草に

ハイバーX 粒剤1.5

● 果樹・桑・茶の除草剤

デュボン

カーメックスD[®]

● みかん・りんご園の除草剤

デュボン

バーバー

● 畑作物の除草剤

デュボン

ロロックス-

● いちご・ホウレン草・ビートの除草剤

デュボン

レンザー

● 芝生・タバコの除草剤

デュボン

デュバサン-

● ビート専用除草剤

デュボン

レナバック-

除草剤専用ノズル **T-ジェットノズル**

丸和バイオケミカル株式会社

〒104 東京都中央区京橋2-3 守随ビル ☎03(567)7501(代)
大阪出張所: 〒530 大阪市北区芝田町110-1(光栄ビル) ☎06(371)3145
九州出張所: 〒810 福岡市中央区舞鶴1-4-1(タカマツビル) ☎092(741)7698

気長に抑草、気楽に造林

*宿根性イネ科・カヤツリグサ科雑草防除に

フレノック 粒剤
液剤

*クズの抑制枯殺に

クズノック 微粒剤

三共の水田除草剤

*水田初期除草剤

三共 M^{エム}O^{オー} 粒剤-9

*水田一般雑草に

三共 マーシート 粒剤5



三共株式会社

農薬部 東京都中央区銀座3-10-17
支店 仙台・名古屋・大阪・広島・高松

北海三共株式会社
九州三共株式会社

■資料進呈■

調和をめざすカヤクの農薬!

新発売

◎速分解性の水田用初期除草剤

カヤフェン[®] 粒剤



日本化薬株式会社

〒100 東京都千代田区丸の内1-2-1

◎水田用中期除草剤

パウナックス[®]M 粒剤
粒剤3.5

○ウリカワ、1年生雑草の同時防除に

◎桑園用除草剤

粒状 ゲザパックス[®]3

○手まきで省力

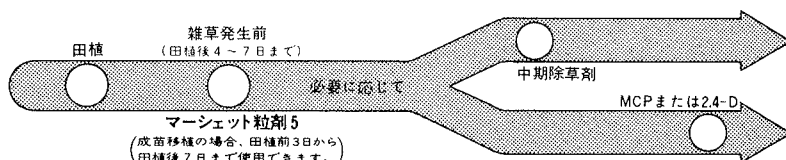
水田除草は「初期」が勝負です 確かな除草剤をすすめたい…



つらい“ヒエ抜き”から皆さんを解放してあげてください！

大切な初期除草に、確かな効きめが長く続くマーシェット粒剤5が決め手になります。がんこなヒエに抜群の効果。もう、腰を曲げ曲げ“ヒエ抜き”に苦勞することはありません。さらに、最近各地で問題になっているホタルイ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカなどにもよく効きます。

●土壌処理剤ですから、必ず「雑草発生前」の散布をおすすめください。



※ウリカワ、オモダカ、ヒルムシロなどの多発田では、より確実に防除するため、マーシェット粒剤5の処理後、適期にこれらの草に効く専用防除剤の処理をおすすめします。

水田初期除草剤の決定版

マーシェットTM 粒剤 5

TM 米国モンサント社商標

マーシェット普及会
三 共(株) 日本農薬(株) 北興化学工業(株)

事務局
日本モンサント株式会社
〒100 東京都千代田区霞が関3-8-1 虎の門三井ビル

—— すばらしい効きめ ——

除草のきめ手

クミリードSM

強力水田中期除草剤

粒 剤

- ノビエ・コナギ・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ウリカワの除草に適します。
 - ウキクサ・モ類に有効で水田をきれいにします。
 - 処理適期の幅が広く効力が長期間持続します。
 - 普通移植、稚苗移植水稻に使用できます。
 - 初期除草剤との体系処理をすれば、一層安全確実です。
 - 人畜、魚介類に高い安全性があります。
- 使用薬量：10アール当り3～4kg(壤土～埴土)
使用時期：普通移植水稻＝田植後10～20日
稚苗移植水稻＝田植後15～20日

定評の姉妹品

- ★サターンS粒剤
 - ★サターンM粒剤
- も……どうぞ。



取扱い
農協・県経済連・全農

自然に学び自然を守る



クミアイ化学

お問い合わせは 東京都台東区池之端1-4-26

期待に応えて新登場!!

多年生・一年生
雑草の同時防除に

ラメットSM

粒 剤

- ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、オモダカ、ヘラオモダカなど、最近急激に問題化している多年生雑草をも防除できます。
- ノビエの3～4葉期処理でも卓効があります。散布適期幅が広いので、労力配分が容易で大変省力的です。



八洲化学工業株式会社
東京都中央区日本橋本町1-6(大和ビル)



三笠化学工業株式会社
福岡市中央区天神4-9-1